

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第3回川越市男女共同参画審議会
開催日時	令和3年1月27日(水) 午後2時00分～午後3時25分
開催場所	川越市役所 7AB会議室
議長	会長
出席者	(会長) 大橋 稔 (委員) 猪野晴代 門田裕子 山口日出美 大森三起子 森 豊吉 高橋 巧 船津和信 最首洲子 坂詰靖子 小林敦子 中野 弘 (12人) (市民部長) 宇津木寿子
欠席者	(委員) 小野登美子 藤倉省一 高橋由香里 (3人)
傍聴人	なし
事務局職員 職・氏名	課長 小林玲子 副課長 今井真人
会議次第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 部長あいさつ 4. 議 題 (1) 第六次川越市男女共同参画基本計画について (2) その他 5. 報告 (1) 第六次川越市男女共同参画基本計画の答申について 6. 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 第六次川越市男女共同参画基本計画(原案)(資料1) ・ 「第六次川越市男女共同参画基本計画(原案)」に対する意見募集の結果及び市の考え方について(資料2) ・ 第六次川越市男女共同参画基本計画の策定について(答申)(案)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 開 会 傍聴希望者なし</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 部長あいさつ</p> <p>4. 議 題 (1) 第六次川越市男女共同参画基本計画について</p>
事務局	事務局より、資料1及び資料2に基づいて説明
委員	資料2の3番目の意見で、避難所開設訓練の参加者は男性の支会長ばかりという意見があったが、女性の支会長はいない。各支会男女各1名ずつの参加ということにすればよいのではないか。
委員	資料2は的確な意見が多い。しかし、意見提出者が3名と少ないのはなぜか。インターネットでの意見募集はしなかったのか。
事務局	市のホームページでも募集し、電子申請もできるようにした。
会長	興味があれば、計画のページ数が多くても意見を出すだろうが、興味がないと、このページ数だと意見を出そうという気にならない。次回は、要点を絞って意見を募集してみてはどうか。
事務局	意見募集にあたり、計画の概要版も公開した。
委員	計画はまとまっていて見やすい。索引もわかりやすい。答申書もまとまっていてよい。
委員	グラフの色分けの仕方を工夫してほしい。私は色弱だが、淡い色は複数の色が離れて表示されていると、色がわからない。
委員	資料2の4番目の意見だが、1つ目は楽しいイベントだけでなく、啓発もしてほしいという意見、2つ目は講座以外のやり方も考えてほしいという意見で、内容が違うと思う。

委員	資料1の19ページのグラフは、「わからない」「無回答」が棒グラフの真ん中にあり、以前より見づらくなった。23ページのグラフでは「無回答」が右側となっている。前のグラフの方が見やすいので、修正できないか。
会長	事務局、変更した理由は何か。
事務局	資料1の19ページのグラフについては、「肯定する人」と「否定する人」の状況が分かりやすいようグラフの左右に分けた。却って見づらいうのであれば、23ページのグラフと整合が図れるように考えたい。
委員	資料1の20ページ以降の具体的事業は見やすい。事業値や目標値の数値化はわかりやすいが、主要課題12の相談事業などは、目標値が「-」になっている。
会長	今の意見は、目標値がないものはこれから入れるのか、どのように考えているのか、目標値がないものはどう評価するのか、ということだと思う。
事務局	相談事業については、目標値は設定せず、このままである。
委員	目標値に「-」が多いと思う。
会長	「-」の意味がわかるようにしてほしい。目標値の設定が適切でないものは、目標値の欄を削除するのも一案ではないか。
委員	相談事業には、目標値は設定できない。
委員	事務局の方で事業値を資料とするのであれば、このままでもよいのではないか。
会長	目標値を設定しない理由を記載するか、欄を削除するか、考慮してほしい。
事務局	目標値を設定しない理由を記載するのと、欄を削除するのと、どちらがよろしいか。

委員	事業値があるなら、目標値もあった方がよい。それぞれの説明は必要。
委員	資料1の57ページの取組の方向に、「DV被害者が配偶者暴力相談支援センターに繋がるように」とある。例えば、配偶者暴力相談支援センターに繋がった割合が目標値になるのではないか。
委員	私もそう思う。結果を示すのがよいのではないか。
会長	難しいところだと思う。相談は、目標値の設定が不適切であるという気がする。何が結果なのか、数値化は難しいと思う。
委員	目標値は相談をする側でなく、受ける側のものである。相談事業は相談者が主体であり、目標値は馴染まない。どういう結果を生んだか、関係者のコメントをつけてほしい。目標値はない方がよい。違和感がある。
委員	目標値の設定について、例えば、DVで凄惨な暴力を受けている人が1,000人に1人だとすると、100万人では1,000人いることになる。実際の人数で捉えていくことも必要である。
委員	相談件数が目標値に馴染まないというのは、一致した意見だと思う。重要なのは、どう解決したのかということではないか。相談件数だけでなく、保護施設に送致したなど、相談結果を分析する必要があると思う。
事務局	資料1の54ページ(1)「配偶者暴力相談支援センターの充実」中、「関係機関等との連携会議」事業において、庁内の関係部署、警察や児童相談所なども含めた関係機関等と連携会議を開催し、結果の分析を含めた情報交換等を行っている。
会長	計画書に、事業値や目標値の説明は掲載しているのか。
事務局	現状では掲載していない。
委員	索引に説明を入れるのがよいのではないか。事業値と目標値の違いなどの説明が必要であると思う。進捗状況の報告の時は、件数だけで

	なく、具体的な報告をしてもらいたい。
委員	相談は件数も大事だが、啓発も大事。それをどういう形で示すかが難しい。相談に来た人はまだ救われる。こういう相談をやっていると加えられたら良いと思う。
会長	安心して相談してよいと思わせる啓発が必要である。
委員	4ページの「4 計画の基本理念」②のタイトルの「慣行についての配慮」という表現は、読み方を間違えると逆の意味に取れてしまう。
会長	「配慮」という言葉しか使えないと思う。
委員	「慣行の影響に対する配慮」ではどうか。
会長	これは、基本理念という根本にかかわる所。別の言葉があればご一考をいただければと思う。
委員	「慣行の悪影響に対する配慮」ということになるのかなと思う。
事務局	この部分は男女共同参画社会基本法の文言をそのまま載せている。
委員	57ページの「高齢者の相談」の担当課が、現計画では「地域包括ケア推進課」だが、「福祉相談センター」となっている。このセンターは、本庁舎の中にあるのか。
事務局	U_place の中にできた、福祉の総合相談窓口である。
委員	グラフで複数回答可のものは、そのように記載した方がよい。56ページのグラフは、複数回答可のものか。
事務局	複数回答可である。
委員	グラフが一人歩きしてもいいように、複数回答可のものは、そのように記載した方がよい。
委員	ダイジェスト版を作成する時は、関連性のある事業を見られるように、どの部署がどの事業を担当しているのか、一覧表を入れてほしい。

事務局	<p>(2) その他</p> <p>なし</p>
事務局	<p>事務局より説明</p>
委員	<p>意見なし</p>
	<p>全委員のあいさつ</p>
	<p>6. 閉 会</p>
	<p>以上</p>